

“二人静”と漢字で書くと世阿弥の謡曲の題名を意味したり、名古屋の銘菓(清楚な茶菓で紅白一対の御干菓子)のことをさしたりしますが、花の場合はフタリシズカと書いて千両科センリョウ属の山野草をあらわします。

「忘れざり花にも二人静あり 中村汀女」

野にひっそりと咲く草花のように、さりげなく日本語のすばらしさを伝えてゆきたいとの願いを込めました。

～出演者プロフィール～

熊谷 百合子



(株) ニッポン放送アナウンサーを経てフリーへ。

一般社団法人 日本朗読検定協会プロフェッサー。

「朗読ユニットふたりしずか」を平成26年9月に結成。Rikka Reading Liveの代表を平成29年12月より務める。東京都はじめ札幌市(華音朗読会、音夢の会、道立文学館等)、道内各地で定期的に朗読会を開催の他、札幌定期「交響的物語 ピーターと狼」・札幌吹奏楽団定期「語りと吹奏楽シリーズ1～4」でナレーションを担当、教育映画・各種プロモーションビデオでのナレーション、MC、音楽イベント等多数出演。HIMESアーティスト会員。

杉浦 貴子

NPO法人日本朗読文化協会会員。

ヨークカルチャー朗読講師。

朗読グループ「花かご」、「すみれ」主宰。

朗読グループ「Lala」「和みの本棚」、朗読と音楽のコラボ「KOMOREBI」に所属。

また、朗読の場を東京と札幌に持ち、東京では、八重洲朗読会、朗読の日・朗読アラカルト出演、札幌では、朗読フェスタ、音夢の会、月あかりの朗読会等に出演中。

宮下 郁子

カナダバンクーバー・京都の平等院・東本願寺他での朗読会及び札幌市の市立中央図書館、北海道立近代美術館、北海道立文学館、渡辺淳一文学館他での朗読会の企画・演出・出演。

東京・矢来能楽堂、京都・金剛能楽堂での朗読会に出演。

2009年度「古典の日記念朗読コンテスト京都府知事賞受賞」

2014年同大賞受賞。古典の日朗読コンテスト受賞者で作る「朗読グループ“古都”」の代表。

2007年より全国にて朗読文化普及に努める。

八島 紫帆



カンテレ奏者。2006年カンテレと出会い、小型・中型カンテレを佐藤美津子氏、あらひろこ氏に師事。2009年よりカンテレアンサンブル aikaに参加。2010年よりビッグカンテレを演奏、Paivi Ollikainen氏に師事。以来ビッグカンテレアンサンブル等でも活躍。

伊藤 希代子



札幌大谷短期大学音楽科卒業・音楽専攻科修了。「音楽教室カンタービレ」で後進の指導をする傍ら様々な演奏会に出演。ピアノコンチェルト、声楽・器楽等の伴奏、チェンバロ、チェレスタ演奏及び合唱・オペラ・声楽ソロ等。現在、北海道フーゴヴォルフ協会・奏・谷の音楽会各会員、北海道二期会準会員。